

平成29年度 学校教育目標及び経営方針

京都市立石田小学校

学校教育目標

「意欲的に学び、お互いを大切にし、心と体をきたえる子」

目指す子ども像

- 自ら課題を見つけ、最後まで諦めずに解決しようとする子
- 互いのよさや違いを認め合い、共に学ぼうとする子

目指す教職員像

- 教育者としての責任を自覚し、指導力・授業力・思考力・発想力・創造力を身につける教職員
- 互いに学び合い、認め合い、高め合い、チームとなる教職員

目指す学校像

- 学ぶ意欲にあふれた規律ある学校
- 家庭・地域と協働し、信頼され「子どもを通わせたい」と思われる学校

<経営方針>

☆目指す子ども像に迫るために

- 確かな学力
 - ・学びの約束やルールを徹底し、意欲的に学べる指導を工夫する。
 - ・わかる喜びと学ぶ楽しさを実感できる授業を構築する。
 - ・適切な「めあて」の提示とそれに応じた「まとめ」の実施を徹底する。
 - ・体験活動や作業的活動等多用な学習形態を取り入れ、学習の理解を深める。
 - ・言語活動を重視した学習活動を開拓し、学校図書館を「学習・情報センター」としてより一層活性化させることにより思考力・判断力・表現力を育成する。
 - ・読書活動を推進し、言語能力や読解力を高める。

- ・全校児童が英語に慣れ親しむような環境作りを進める。
- ・個に応じたきめ細やかな取組を推進する。(総合育成支援教育)
- ・家庭学習の定着を図る取組を粘り強く継続する。

○豊かな心

- ・支え合い・高め合う集団づくりを推進し、自尊感情を高める。
- ・道徳教育のさらなる充実を図る。(道徳の評価についての研究を推進する。)
- ・児童会活動(集会や縦割り活動)を活発化し、子どもの主体的・自発的な活動を重視すると共に、望ましい人間関係を築く。
- ・挨拶の励行、「いじめは許されない」という指導の徹底、薬物乱用防止教室・非行防止教室実施等により規範意識を育成する。
- ・障害についての理解と認識を深めるような取組を広げる。
- ・保育園との連携を通して、豊かな心情を育む。

○健やかな体

- ・体育学習及び運動部活動、朝のランニングの充実を図り、体力向上を目指す。
- ・ジャンプアップ・プロジェクトの取組により運動遊びの定着を図る。
- ・望ましい基本的生活習慣を実践する力を育てると共に、家庭への働きかけを継続する。
- ・栄養教諭を中心として食育の充実を図る。
- ・食物アレルギーのある児童に対して、適切な対応と保護者との蜜な連携を継続する。
- ・各学年教育課程の中に計画的に位置づけ、安全教育を充実させる。
- ・防災教育を開催し、学校外でも主体的に行動できる態度を育成する。

☆目指す教師像に迫るために

- 「子どもの命を守り、育む」教育を徹底する。(いじめ・被虐待・不登校)
- 次期学習指導要領の理念を理解し、その実施に向けて計画し実践を積む。
- 本校児童の学力向上に向けて、共通理解事項を1年を通してやりきる。
- 自ら学ぶ意欲を持ち続け、自己研鑽を積み、指導力向上に努める。
- 子どもや親の願いや困りを的確に捉え、適切に対応する。
- 子どもとの温かい信頼関係を築き、子どもの心の居場所を作る。
- 組織運営を担う一員であることを自覚し行動する。(ほう・れん・そうの徹底)
- 「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」を迅速かつ組織的に行う。
- 学び合い、高め合い、相談し合える教職員集団を作る。

☆目指す学校像に迫るために

- お互いを認め合い、大切にし合い、人権が尊重される学校をつくる。
- 障害特性の理解と的確な実態把握についての専門性を高める。
- 学校運営協議会やPTAの取組を推進し、「社会に開かれた教育課程」を編成する。
- 学校教育活動についての情報発信に努める。
- 小中連携・小小連携のさらなる充実と保小連携の推進を目指す。
- 学校評価を活用し、教育活動の改善を図る。
- 児童相談所・福祉・保健・医療等関係諸機関との連携を深める。